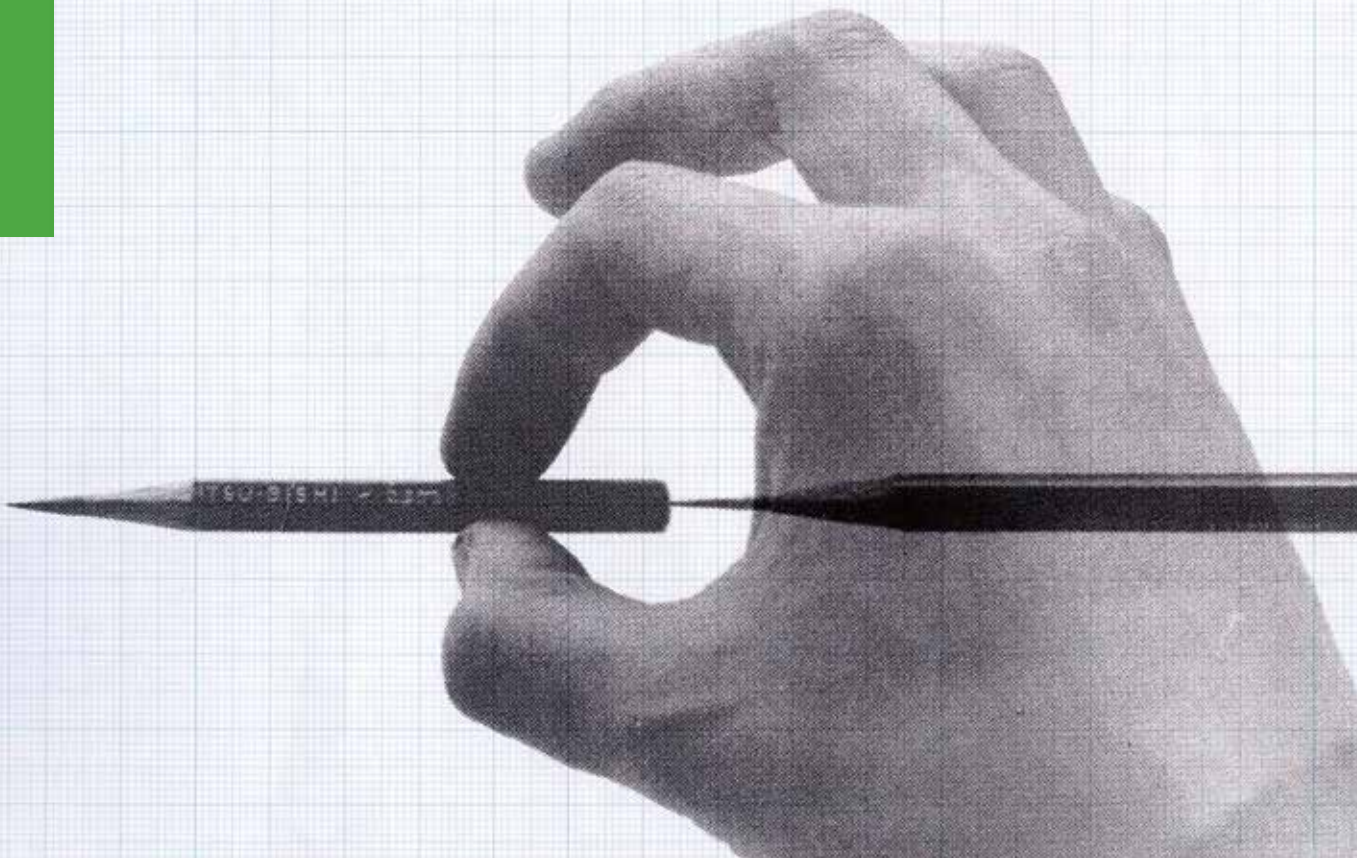


clas

Center for
Library
Studies &
Archives



木村 秀樹《Pencil 8》1974年（部分）

版の思考

2020年2月6日[木]-2月11日[火・祝]（10:00-18:00 | 土曜・日曜 休み）

名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

入場無料

□ 木村秀樹（版画家）と三脇康生（美術評論家）によるトークイベント

2月11日[火・祝] 15:30-17:30

参加無料

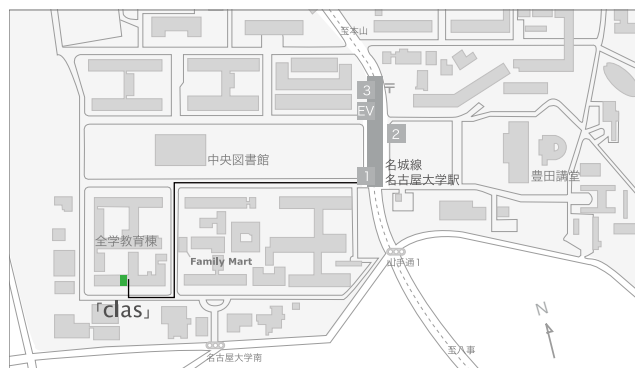
□ 受講生のギャラリートーク

2月11日[火・祝] 10:30-, 13:00-

参加無料

版画のあり方を根源的に問い直すことで関西の版画界、さらには日本の版画界に大きな影響を与えた二人の版画家、井田照一（1941-2006）と木村秀樹（1948-）の1970-80年代の作品を展示し、両者による版の思考の現代的意味を問い直します。

なお、本展覧会は「一般博物館実習」の一環として行われるもので、運営は受講生によって行われます。本展が現代版画の魅力を再発見する機会となれば幸いです。



名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

地下鉄名城線「名古屋大学」駅

1番出口より西へ5分、全学教育棟南入口横

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/clas/>

主催：名古屋大学人文学研究科博物館学研究室

企画協力：愛知県立芸術大学 大崎のぶゆき研究室